翼をください

いわき骨髄バンク推進連絡会議・会報

No.2
平成3年4月10日
■発行■
いわき骨髄バンク
推進連絡会議・会報編集委員会
福島県いわき市内郷御厨町久世原1B
いわき市立総合磐城共立病院成分輸血室内 ☎0246(26)3151内線(2350)
■発行責任者■
山内郁子

陳情書

平成3年3月

件　名

骨髄移植医療設備の設置についての陳情

陳情の趣旨

白血病、再生不良性貧血等造血機能障害者を救済するために、市立病院内に無菌室等を設置され、骨髄移植医療体制の整備充実を図られるよう、お願いするものです。

理　由

我が国では、白血病、再生不良性貧血等で亡くなる方が年間5千人を越えており、多数の患者が死の恐怖に直面しながら闘病生活を送っております。

最近の医学の目覚ましい進歩により、これからの疾病に対する強力な治療法が確立され、その一つに骨髄移植という有効な根治療法があります。しかしこの治療法を用いるには、患者と骨髄提供者のHLA（主要組織適合性抗原）が一致する必要があります。　この適合率は、兄弟姉妹間で4分の1、非血縁者間では百分の1から1万分の1といわれています。非血縁者間では百分の1から1万分の1といわれています。

非血縁者間では百分の1から1万分の1といわれています。

一方の現代では、家族内に提供者を見出し難く骨髄移植をすれば治るのだが、といわれつつ失われていくのが年間数千人あるのです。

そこで、あらかじめ骨髄提供の意志のある方のHLAの型を登録しておき、骨髄提供者を必要とする患者に適合する非血縁者の提供者を検索できる登録制度（骨髄バンク）の必要性が全国の患者・家族の間で望まれていました。

3年程前から国の制度としてこの公的骨髄バンクの設立を求める患者・家族・ボランティアの運動が全国的なうねりを見せ、現在全国骨髄バンク推進連絡協議会、各地骨髄バンク推進連絡会議等がその運動を推進中であります。

私達いわき骨髄バンク推進連絡会議も昨年9月に設立以来、県、市を始めとする行政機関各位の御指導のもと、市民の皆さんの善意に支えられて、大きな市民運動として発展してまいりました。

お陰様で、厚生省より昨年11月「骨髄バンク組織に関する研究」の報告が発表され、また12月には平成3年度予算の中に骨髄バンク関連予算2億7千万円が計上されました。

詳細については、まだ不明な点が残されてはいるものの、平成3年度中には全国的組織の公的骨髄バンクが、スタートするのは確実な状勢となりました。運動を続けてきた私達にとっても、一日千秋の思いで移植を待ち望んでいる患者にとっても、こんなに喜ばしいことはありません。

しかし現在、骨髄移植のできる医療機関が限られており、兄弟等から骨髄の提供を受ける同種骨髄移植の患者の場合も、数ケ月ベットが空くのを待っている状態であります。公的骨髄バンクがスタートし、非血縁者間の骨髄移植が数多く可能になると、移植医療機関の不足は避けられず、提供者が見つかっても待っている間に病状が悪化して亡くなってしまうと云う、新たな社会問題を引き起こす可能性さえあります。患者やその家族にとって提供者が見つかって移植が受けられない事態は、なんとも残念でなりません。

又、現在まで当地区の患者さんの中で骨髄移植を受けられた仲さんは、東京や新潟等の医療機関に於いて移植を受けています。家族ぐるみで遠方に長期に滞在する負担は大変なものであります。その為に、骨髄移植をあきらめてしまう患者さんさえいるのです。

そこで、いわき市はもとより福島県浜通り地区の基幹病院であり、東北一の規模を誇るいわき市立総合磐城共立病院内に、無菌室等を設置され、患者さんが地元において骨髄移植が受けられるよう、骨髄移植医療体制の整備充実を図られるようお願いするものです。

患者やその家族の事情御推察下さいまして、格別なる御配慮を賜りますよう、会を代表し陳情申し上げます。

平成3年3月19日

いわき市長
岩城光英　殿

いわき骨髄バンク推進連絡会議
代表　藤田秀夫　㊞

市立病院に無菌室を

陳情（3月19日）

市長
議長
院長

近い将来、いわき地域に於ても骨髄移植が可能となるよう、いわき市立総合磐城共立病院内に骨髄移植にとって不可欠な設備である無菌室を設置されるよう陳情しました。

三月十九日、岩城光英いわき市長、大平多太男いわき市議会議長、いわき市立総合磐城共立病院宇留賀一夫院長に無菌室の設置を含めた骨髄移植医療体制の充実を図られるようお願いし、それぞれ陳情書を提出しました。

提出した陳情書の全文を掲載します

市内図書館等に「いのち見つめて」寄贈

●白血病と闘った少女の記録●

骨髄移植、骨髄バンクについて正しく理解してもらうため、書籍「いのち見つめて」を市内の図書館、中学校、高等学校、看護学校等に合計七十二冊を贈りました。

一月十一日、市教育委員会館教育長に四十八冊、一月十四日に市内高等学校、校長会に十八冊、その後看護学校等にも寄贈をし、NHKテレビや新聞数社にニュースとして紹介されました。

「いのち見つめて」は金沢大学医学部付属病院で骨髄移植によって命を救われた板倉雅美さんと云う少女の発病から苦しい闘病生活、家族愛等を北国新聞社が感動的にまとめたドキュメンタリーです。

ニュースをみて県内各地から数十冊の本の申し込みがありました。

若い人達にも白血病や骨髄移植、骨髄バンクについて正しく理解してもらうため、書籍「いのち見つめて」を市内の図書館、中学校、高等学校、看護学校等に合計七十二冊を贈りました。

一月十一日、市教育委員会館教育長に四十八冊、一月十四日に市内高等学校、校長会に十八冊、その後看護学校等にも寄贈をし、NHKテレビや新聞数社にニュースとして紹介されました。

「いのち見つめて」は金沢大学医学部付属病院で骨髄移植によって命を救われた板倉雅美さんと云う少女の発病から苦しい闘病生活、家族愛等を北国新聞社が感動的にまとめたドキュメンタリーです。

ニュースをみて県内各地から数十冊の本の申し込みがありました。

感想も数件寄せられています。その中から高坂町の中谷川さんの感想を紹介します。

『凄まじいばかりの闘いがこぼれただ女と乙女こぼれただ女と乙女こぼれただ女と乙女こ

協力ありがとう！

請願署名の三月末集計

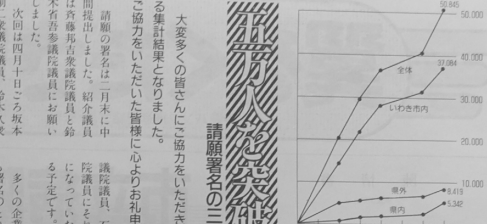
大変多くの皆さんにご協力をいただき五万人を超える集計結果となりました。
ご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

請願の署名は三月末に中間提出しました。紹介議員は斉藤邦吉衆議院議員と鈴木省吾参議院議員にお願いしました。

次回は四月十日ごろ坂本剛二衆議院議員、鈴木久衆議院議員、石原健太郎参議院議員にそれぞれ紹介議員になっていただいて提出する予定です。

多くの企業や団体の方にも署名のとりまとめをお願いしました。快よくお引受けいただき、あらためてお礼申し上げます。

最後に市内、県内はもとより、東北・関東各地から一万名におよぶ署名を取りまとめていただいた中央建設業いわき会三十五社一会の会長さんより激励のお手紙をいただきましたのでご紹介します。



三月集計		
いわき市内	37,084	合計
福島県内	5,342	50,845
福島県外	8,419	

中央建設業いわき会

会長 星野義邦

今年初め、陽田代表より骨髄バンク設立のための、請願署名運動の話しを聞き早速会員各社に協力を要請、署名運動を展開してまいりました。

署名運動を通じて痛切に感じたことは、一人一人の善意の協力が大きな力になると言うことです。

バンク設立に奔走されている方達の御苦労や、患者並びに家族の苦しみが伝わって来たような気がします。

全国には難病で苦しんでいる患者さんが沢山いらっしゃるのですから一日も早く骨髄バンクが設立され、善意の提供により一人でも多くの患者が救われることを望んでいます。

第十三回日本骨髄移植研究会に参加して

いわき市立総合磐城共立病院血液内科

大津智子

私（大津）は同僚の齋藤明医師、及びいわき骨髄バンク推進連絡会議代表の陽田秀夫氏とともに、「元気いっ」将来、私たちの地域での骨髄移植（以下BMT）治療開始に備えて、同時にわれわれのBMTの現状やBMT研究の最先端の情報を得るべく、日本BMT研究会に参加して参りました。

同会は名古屋において二月二五日、二六日の二日間にわたって開催され、一年々参加者及び演題も増え、いかにBMT治療が重要な位置を占めるに至っているかが、理解されました。今回の研究会の最大の特徴は、一般演題に加えて、サテライトシンポジウムとしてBMTに於ける看護体制の話題、及び骨髄ドナーバンクの現状と技術についての話しが合われた点です。

まず一般演題では大学病院の中、大規模一般病院から多数演題が発表され、BMT治療が広く普及されつつあることがわかりました。

しかし残念ながら東北地方では未だBMT可能病院は圧倒的少なく、人口約五〇万人を抱える福島県浜通り地域に、唯一の高度専門医療機関であり当院でのBMT設備の充実は急務と思われました。加えて、高度の医療知識及び経験を必要とする症例も多く、我々医療スタッフにもBMTの理解は協力して以いただく必要があると思われました。このような シンポジウムの機会にはぜひ当院の看護婦にも参加してほしいと思いました。

最後に骨髄ドナーバンクのシンポジウムでは非血縁者間BMTに於けるコーディネートの問題が討論されました。東海骨髄バンクではコーディネートに約六月必要であったとの報告がなされました。我々の扱う大人のBMTの連応となる血液疾患では長期間待てない症例も多く、公的全国骨髄ドナーバンク発足に当たって、今後の重要な問題点と思われました。

PR用テレカ近日中に

骨髄バンクのPR用にテレホンカードを作成致します。五百円と千円の二種類で、四月上旬に出来る予定です。リーフレットとワンセットで作りますのでお楽しみに！

成分献血
分離装置
血漿
血小板
血液
血小板
血液
血小板
血液